

# コロナ禍の中で学ぶ子どもたちのために 少人数学級で豊かな学校生活を

和歌山県

知事 仁坂 吉伸 様  
教育長 宮崎 泉 様

いま、学校では「感染防止」をはかりながら、豊かな学校生活を保障することが求められています。そのためには、学校現場の努力だけではなく、環境整備が必要となっています。

分散登校では「子どもたちとよく目が合った」「授業がよくすすんだ」など、教職員の感想が寄せられました。少人数になると子ども一人一人の表情がよく見え、子どもたちが生き生きと学び、授業がよくわかるということを、子どもも教職員も実感することができました。

全国知事会・全国市長会・全国町村会も、少人数学級の実施を求めています。私たちは、国に対して教職員の増員と少人数学級の実現を求めることと同時に、和歌山県としても県の独自措置を進めることが必要だと考えています。

児童生徒が増加している障害児学校や障害児学級でも、学級編成基準の改善が求められている状況は同じです。また、和歌山県では複式学級の解消も大きな課題となっています。

コロナ禍の中で学ぶ子どもたちに豊かな学校生活を保障するために、下記のことを要請します。

## 記

- 1、県独自の少人数学級編成をさらにすすめること。
- 2、複式学級、障害児学級の編成基準を改善すること。
- 3、県独自で教職員を増員すること。
- 4、少人数学級編成の実施や教職員の増員、特別支援学校の設置基準策定を国に働きかけること。

氏 名	住 所

\*上記の個人情報は、和歌山県及び和歌山県教育委員会へ提出する以外には使用しません。

取り扱い団体

呼びかけ団体

**和歌山県教職員組合**

〒640-8269 和歌山市小松原通 3-20  
TEL 073-423-2261 <http://wakyoso.com>